

言

一 無産政党中央同盟問題に關する件

報告中の中央執行委員会決定を中心として熱烈なる討議あり、

我々の態度と決定した。

二 秋葉は断じて日本労農党を脱退せず、あくまでその内部にありて

大衆党合同の反対の精神を生かすべく努力すること。

三 合同後の新政党に対する組合同盟の態度は今後の形勢に依りて

改めて決定すること。

四 日本労農党は対しては左の意見を提出すること。

五 合同問題は緊急に拡大中央委員会 或は臨時大会を開催して決

定されたい。それまでは合同問題の執行を見合せられ度し。

六 二週年紀念宣傳週間の件 (可決)

七 組合同盟運動方針大綱決定の件 (原案作成と中央執行委員会に任じ中央)

八 労農青年同盟確立の件 (可決)

九 人事並に事務に關する件

十 政治部長は会長の兼任では不便だから更めて山名と裁鶴氏を推す。

十一 与謝野口澤部長は口外にある情報よりからば、原鮮蔵に任じ、

十二 委員会に任じ、

十三 本部移転は執行委員会に任じ

70

4. 2. 19
562



日本労働組合同盟第七八回中央執行委員会

昭和四年二月 末

No.

「最近の社会運動」原稿用紙

紙用稿原本
頁一テ=枚六